

## ひとまずお疲れ様でした

センター試験が終わり、それぞれの成果が出たことと思います。自己採点の結果が良くても悪くても、それはもう終わってしまったことです。「自己採点したくない」「点数を報告したくない」といった人は切り替えという点で心配です。どう足掻いても当日に提出したマークシートに変化は起こりません。すぐにでもこれからのことを考えていきましょう。今日は今後のやるべきことについて考えてみます。

## センター試験の平均点予想

教科・科目	配点	2018年(昨年・130回生)			2019年(今年・予想Ave.)		
		受験数	不動岡Ave.	全国Ave.	ベネッセ駿台	河合塾	
英語	筆記	200	349	144.4	123.75	121	119
	リスニング	50	349	26.1	22.67	30	31
国語	国語	200	249	126.3	104.68	115	127
数学	数学ⅠA	100	237	65.2	61.91	61	60
	数学ⅡB	100	220	50.2	51.07	51	57
地理歴史	世界史B	100	55	81.1	67.97	66	61
	日本史B	100	121	75.3	62.19	64	65
	地理B	100	106	66.8	67.99	64	61
公民	現代社会	100	44	76.3	58.22	57	56
	倫理	100	1	81.0	67.78	67	60
	政治・経済	100	36	65.9	56.39	57	58
	倫理&政経	100	23	79.2	73.08	67	65
理科①	物理基礎	50	4	32.3	31.32	31	27
	化学基礎	50	47	35.0	30.42	31	33
	生物基礎	50	73	42.0	35.62	32	32
	地学基礎	50	62	36.9	34.13	31	27
理科②	物理	100	82	63.4	62.42	59	58
	化学	100	123	61.6	60.57	53	52
	生物	100	50	66.8	61.36	60	69
	地学	100			48.58	49	50
総合	5-8 文系	900	70	605.0		563	573
	5-7 理系	900	99	572.8		571	576

注：ベネッセ駿台&河合塾の予想平均点は、1月20日(日)夜の時点での速報値。

これらはあくまでも予備校による「予想」平均点です。あれこれ考えるのは今週25日(金)にデータが返却されてからとして、今日からは国公立大二次・私立大対策に取り掛かりましょう。あなたたちに後悔や安堵をしている時間はありませんよ。

## 個別・一般学力入試の対策上の注意 頭の切り替えの早い人が勝つ!

### ① センター試験の結果を引きずらない

センター試験は入試の最初の関門でした。どんな結果であってもセンター試験の結果を変えることはできません。一刻も早くこれからの国公立大二次や私立大に向けた対策に目を向けましょう。特に国公立大が本命の人は、併願する私立大の入試対策は不足しているでしょうから、センター試験でできなかった問題を復習するの必要はありますが、悔んだり、悩んだり、あれこれ思っている時間はありません。前向きな気持ちが、二次試験にも生きてくるはずですよ。

### ② 「マーク」から「記述」へ頭を切り替える

昨日まではセンター試験対策の勉強をしていたのですから、頭の働きもそれに対応したものになっています。今日中に学習計画を立て、1日でも早く記述・論述問題へ対応できる頭に切り替えましょう。手っ取り早い方法の一つとして、過去に受けた記述模試(ベネッセ駿台記述模試、河合塾全統記述模試、大学別オープンor実戦模試etc.)の復習がおすすめです。

理由としては、次のような理由が挙げられます…

- (1) 初見の問題ではないので無理なく取り組み、答案作成方法を思い出すことができる。
- (2) テスト形式になっているので、時間を計って取り組み、時間配分の練習になる。
- (3) 解答解説&採点済みの答案を熟読すれば、「復習 = 弱点補強」にもなる。

わずかに数回分ですから、数日でできるでしょう。まずは模試復習からスタートしませんか?

### ③ 「過去問」演習は必須 & 「大学案内」で気持ちを切り替える

国公立大二次・私立大入試は、さまざまな出題範囲・内容にわたっています。これに対応するには赤本等で過去問を実際に解いてみるのが何より有効です。過去数年分を繰り返し解いているうちに、その大学の傾向も自然につかめてくるので、直前期の受験準備にはもってこいの教材、です。論述問題の答案は、先生に添削指導してもらおうとよいでしょう。

また、志望校の大学案内(パンフレット)を勉強の合間に眺めるのも気分の切り替えにはおすすめです。志望校に合格したいという気持ちが一層わいてきて、モチベーションが高まり、新たな気持ちで勉強に打ち込めるはずですよ。

## 自分を過小評価するな!

本日の1限で、センター試験の自己採点結果の提出が終わります。ここで陥りやすい落とし穴があるので注意しましょう。センター試験で「失敗してしまった」と思っている人。まず、過去の模試や演習の得点を思い起こしてみてください。これまでの点数の平均前後の得点だったのならば、それは「失敗」ではなく、現時点での「実力どおり」と考えるのが妥当です。極端に良い点数を期待するのは今後も危険です。何よりも己の実力を伸ばすことに、今日から力を傾けてください。

一番注意しなければならないのは、これまで取ってきた点数には程遠い得点で終わった人です。例えば、「模試では7割前後だったのに6割しか取れなかった」という場合、たまたま一回のテスト結果が悪かっただけです。それを「自分には実力がない」と勘違いして自信をなくし、志望校を下げるといったことのないように。これまでに一度でもいい点数を取ったことがあるなら、あなたにはその実力があります。これから2月・3月にかけて、皆さんはこれまでで最も学力の伸びを実感する時期となるでしょう(もちろん、死に物狂いの追い込みをかけることが大前提です)。例年、1月のセンター試験の結果を大きく上回るランクの大学に、2月・3月の一般入試で合格する人が多数います。今、これからあなたたちに必要なのは「諦めずに前進し続ける気持ち」ですよ。